

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330311049	保育原理 Early Child Care and Education	田村 佳世	✓		2	必修	1前期

科目の概要

DP1, 3, 5に則って、4大精神を実践しながら、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付け、社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けた保育者の育成を目指す。
 保育における具体的な指導では、10年間の保育所保育士として勤めた経験を活かし、場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行う。
 具体的には、保育の意義について理解するため、保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み込み理解をする。また、保育の内容と方法、思想や歴史の変遷などを学ぶ中で、保育の現状と課題について考察し、その学びの中で、保育者となるための基本的な知識と技能及び実践的指導力について理解し、保育者として子どもたちの社会性・社会力の基礎・基本を育てられるよう、また保育を多面的に見る力を養うことを目的とする。

学修内容	到達目標
① 保育の意義及び目的について基礎知識を身に付ける。 ② 保育に関する法令及び制度について基礎知識を身に付ける。 ③ 保育所保育指針における保育の基本について基礎知識を身に付ける。 ④ 保育の思想と歴史の変遷について基礎知識を身に付ける。 ⑤ 保育の現状と課題について基礎知識を身に付ける。	① 保育の理念と概念、子どもの最善の利益、子ども家庭福祉、保育の社会的役割と責任についての基礎知識を獲得している。 ② 子ども家庭福祉の法体系における保育の位置付けと関係法令、保育の実施体系についての基礎知識を獲得している。 ③ 保育所保育指針に関する基本原則、養護と教育、保育の目標、保育の内容、保育の環境・方法、子ども理解に基づく保育の過程とその循環についての基礎知識を獲得している。 ④ 日本及び諸外国の保育の思想と歴史について基礎知識を獲得している。 ⑤ 保育の現状と課題について基礎知識を獲得している。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	履修済みの科目、実習、文献、インターネットなどを活用して、広く具体的な情報を得るために、粘り強く、強い意志をもって取り組み続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業内容や発表における疑問点や自分に不足している知識または技能を認識して、情報収集や分析を行ったり、課題を明らかにするために他者の意見を積極的に求めたりすることができる。
	計画力	
	創造力	授業において修得した知識および技能をもとに、実習や保育者としての自分の姿を想定して、新たな保育観や保育方法を考えたり、探求することができる。
チームで働く力	発信力	授業の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことをノートや指導案に記述(図表含む)することができ、相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に理解して話す、発表することができる。
	傾聴力	グループワーク等を通して学生間で意見交換をし、相手の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。また相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコメントができたり、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	授業ルール(学修態度、課題の期日を守った提出等)の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

新基本保育シリーズ①『保育原理』中央法規
 『保育所保育指針』フレーベル館

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育原理」は「保育者論」と並び「保育の本質・目的に関する科目」で、子ども家庭支援論に関連する。
 資格との関連：保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
・予習・復習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。欠席時は必ずメールにてその旨を担当教員に連絡を入れる。 ・授業の内容は状況に応じて順序が入れ替わることがあるため、classroomの授業資料、連絡をよく確認しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	(獲得) 保育所等の特色及び保育内容の理解 (40%) (活用) 幼児教育の変遷、日本の保育の歴史、保育所保育指針の理解 (40%) (解決) 実践例を通した子ども理解 (20%)	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	学修成果	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
平常評価		レポート		20	①	✓	(獲得) 課題テーマに関する授業内容の理解 (20%) (活用) 課題テーマに関する発表内容の理解 (40%) (解決) 課題テーマに関する学びの活用に関する提案 (40%)
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①		(獲得) 世界の保育制度の理解 (40%) (活用) 世界の保育具体的なニーズ、サービスの理解 (40%) (解決) 世界の保育の課題に関する理解 (20%)	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	(主体性) 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 (実行力) 困難があっても、粘り強く、強い意志をもって最後までやり切ることができる。 (課題発見力) 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を明確にすることができる。 (創造力) 課題に対して固定概念にとらわれることなく、既習内容などから総合的に考えることができる。 (発信力) 具体例を用いて相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に整理して話す、発表することができる。 (傾聴力) 相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコミュニケーションができ、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。 (規律性) 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を的確に理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学びを深めることができる。 発表に関しては仲間と分担、協力して意欲的かつ具体的に準備、発表、学びの共有ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で具体的に表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 <p>A (優)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学ぶことができる。 発表に関しては仲間と分担、協力して準備、発表、学びの共有ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 	<p>B (良)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら学ぶことができる。 発表に関しては自分の担当内容を理解し意欲的に発表ができる。 レポートではテーマに沿った内容を、授業内容を踏まえてまとめることができる。 <p>C (可)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を参考にしたり、教員に確認しながら学ぶことができる。 発表に関しては自分の担当内容を理解し発表ができる。 レポートではテーマに沿った内容をまとめることができる。 <p>その他：Dの再評価（再提出含む）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「保育の理念と概念」 ・保育の理念と概念について学ぶ。 ・保育の倫理と保育マインドについて学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第1講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	第2章「保育の社会的役割と責任」 ・公的施設としての社会的責任について学ぶ。 ・子どもの権利擁護と地域子育て支援について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第2講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	第3講 「子ども・子育て支援制度と保育にかかわる関係法令」 ・子ども・子育て支援制度について学ぶ。 ・社会的養護保育について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第3講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	第4講 「保育の実施体系」 ・保育施設の設置および運営の基準について学ぶ。 ・こども家庭庁について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	(予習) 教科書 第4講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	第5講 「保育所保育指針に基づく保育」 ・保育所保育指針について学ぶ。 ・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第5講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	第6講 「保育の目的と方法」 「保育のねらいと内容と方法」 ・生活と遊びを通じた総合的な保育について学ぶ。 ・学びの連続性について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第6講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	第7講 「乳児の保育」 ・乳児保育の基本について学ぶ。 ・乳児保育の配慮事項について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第7講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	第8講 「1歳以上3歳未満児の保育」 ・1歳以上3歳未満児の保育の基本・内容について学ぶ。 ・1歳以上3歳未満児の保育の配慮事項、事故防止について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第8講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第9講 「3歳以上児の保育」 ・3歳以上児の保育の基本について学ぶ。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用した保育について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第9講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	第10講 「子ども理解に基づく保育の過程①理論編」 ・子ども理解の視点について学ぶ。 ・子ども理解と保育の計画について学ぶ。 ・発表準備	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第10講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	第11講 「子ども理解に基づく保育の過程②実践編」 ・子どもの個人記録の方法について学ぶ。 ・障がいのある子どもの理解と保育について学ぶ。 ・発表準備	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第11講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	第12講 「日本の保育の思想と歴史」 ・近代までの日本の保育の思想と歴史について学ぶ。 ・日本の近代の保育制度のはじまりについて学ぶ。 ・発表準備	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第12講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	第13講 「諸外国の保育の現状と課題」発表 ・世界の保育制度と子どもの福祉について学ぶ。 ・保育の質の維持と向上について学ぶ。	グループ発表 classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第13講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	第14講 「諸外国の保育の現状と課題」学びの共有 ・世界の保育制度と子どもの福祉について学ぶ。 ・保育の質の維持と向上について学ぶ。	グループ発表 classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信	講義の目的内容を理解できている。 グループワークに参加して意見が言える。	PCRシート活用(予習) 教科書 第14講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	第15講 「日本の保育の現状と課題」 ・日本の保育・子育てに関する現状と課題について学ぶ。	オンデマンド classroomに授業資料を共有(反転授業) classroom「課題」にてフィードバックを送信 オープンエデュケーションを視聴 【ほいくis】「子ども主体の保育」の具体化【第一部】 汐見幸幸 https://hoiku-is.jp/seminar/movie/28/	講義の目的内容を理解できている。 課題レポートをまとめ、期日までに提出できる。	PCRシート活用(予習) 教科書 第15講を読む(復習) 授業ノートをまとめる	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力